

インターバンクの声（2016年8月26日）

週明けの2日間ほどは相場も多少動いたが、それ以降の為替市場に大きな変化は見られなくなってしまった。市場がほぼ全面的に、米連邦準備制度理事会（FRB）のイエレン議長の講演待ちの姿勢になってしまっているためだ。市場にはイエレン議長が年内の利上げに言及するのではとの期待感が高まっているが、利上げについて触れない可能性もあり、むしろ消極的な考えを示すかも知れない。市場が利上げに言及すると期待し始めたのは、ニューヨーク連銀ダドリー総裁や複数の地区連銀総裁が年内の利上げに前向きな発言をして以来だが、昨夜もカンザスシティ連銀のジョージ総裁とダラス連銀のカプラン総裁が、それぞれ異なるテレビインタビューで追加利上げ支持の姿勢を表明した。それにも関わらず市場の反応は鈍い。ジョージ総裁は今年の投票権を持っているが、もはやこのタイミングでは、イエレン議長の言葉にしか重みがないのかも知れない。ドル/円は東京時間の9時半頃に若干ドル買いに動いたのは、7月の米耐久財受注と雇用関連の指標が予想よりも好結果だったためだ。リオ・オリンピックを夜中に見て体調が悪くなったのは自己責任だが、今日のイエレン議長発言待ちと来週の米雇用統計で金曜の夜が2週続けて長くなるのは少々辛い。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。